

私立大学情報教育協会  
平成25年度  
大学職員情報化研究講習会  
基礎講習コース報告

C2-班 TeamSJK8

1

## C2-班TeamSJK8の紹介

名前の由来：  
私情協に参加した8名

2

## 発表テーマ

大学と社会の相互関係から見た  
「わかる化」の実現！

3

大学と社会の相互関係から見た「わかる化」の実現！

### テーマ選定理由(1) 大学の役割

【私たちが考えた大学の役割】  
学生を育成し社会への輩出を行う  
地域社会への貢献(知の共有)を行う  
研究者の養成を行う

【役割を果たすために、大学は何をしなければいけないのか】  
大学の特徴の明確化(育てる人材像の明確化)  
環境の整備(設備、人材、場の提供)

4

大学と社会の相互関係から見た「わかる化」の実現！

### テーマ選定理由(2) 大学の現状

【大学の現状】  
公表手法が学生のニーズと合っていない  
散乱している(欲しい内容が載っていない)  
興味を持てる情報デザインができていない  
シラバスを理解するのが難しい  
学生に当事者意識がない

【役割を果たすために、どのような取り組みが必要か】  
学生・教員・職員・地域・企業などの関係者が教育目標を理解する  
学生に対して社会(企業)などの求める人材像等を伝える  
地域社会へ知識を発信する

5

大学と社会の相互関係から見た「わかる化」の実現！

### テーマ選定理由(3) このテーマを選んだ理由

大学の学生・教員・職員・関係者の相互理解が不足していると考察される  
もっと情報が理解し易い大学を目指す事が重要と判断した



大学と社会の相互関係から見た「わかる化」  
の実現！

6

## 大学と社会の相互関係から見た「わかる化」の実現！

### 問題点の深堀

#### 【体制】

現状では、広報の役割分担が不明確  
協力関係ができていない(機会・意識がない)

#### 【意識醸成】

大学の求める目標(ディプロマポリシー)と学生の目標が乖離している  
教員が授業を通して、何を学んで欲しいか学生に提示できていない

#### 【情報の質・量】

情報が散乱している、順序立てられていない  
学生が教育課程の中で自分の位置がわからない  
公開している情報の反応を受ける機会がない  
(学生・社会求める情報が判断できない)

7

## 大学と社会の相互関係から見た「わかる化」の実現！

### 解決策の検討

○大学としての取り組み(ソリューションに向けて)

<距離を近づける、意見を吸い上げる関係づくり>

- 学生自ら作成する企画に教職員が参加する
- 先生の書くシラバスにTAなどがわかりやすい解説を付ける

8

## 大学と社会の相互関係から見た「わかる化」の実現！

### 解決策の検討

#### ・職員の役割

現状の解析をおこない、説得力ある提案資料をつくる  
協力関係の構築と広報活動

#### ・教員への働きかけ

吸い上げたデータ(学生からのアンケート等)を提示し  
改善への対策にご協力いただく

#### ・解決策実現のためのハードルと、その打開策

どう協力してもらうか(教職員)  
→学内でのチーム・体制の構築(部門を超えた連携)  
→委員会化し全学的な取り組みと位置付け、意思決定を迅速化する

9

## 大学と社会の相互関係から見た「わかる化」の実現！

### 大学のイノベーションの提案

#### 【提案の概要】

大学の学びを「わかる化」するための提案

- ◎わかる化とは・・・単に情報を羅列・掲載で満足するのではなく、大学の学びを必要とする人が理解し、活用できる状態にすること

#### 【何を問題として捉えたか】

- 大学側と周囲との意識差(ギャップ)がある
- 大学の提示している目標と学生の学びの目標が違う
- 形式ばかりで現状の教育内容とは差がある

#### 【問題を解決する方法として何を提案するのか】

「わかる化」プロジェクトを実施する  
例：シンポジウムの開催、学生目線のシラバス作成と共有等

10

## 大学と社会の相互関係から見た「わかる化」の実現！

### 大学のイノベーションの提案

#### 【実現するためのアプローチ】

##### Plan

学生や教員への「わかる化」プロジェクトの説明と実施  
アンケートのデータ吸い出し等

##### Do

委員会やプロジェクトチームを組織する

##### Check

定期的なミーティングを行い、イベントのフィードバックの分析と  
改善点の洗い出し

##### Act

「わかる化」プロジェクトの改善(プロセス変更)を提示

11

## 大学と社会の相互関係から見た「わかる化」の実現！

### 大学のイノベーションの提案

#### 【解決されたときの姿】

大学・学生と地域社会との距離が近づき、地域社会から大学への  
意見・生の声を吸い上げる体制ができる。

大学を社会に知ってもらえる機会が増えて大学広報につながる。

大学の教育理念と学生の意識とのギャップが埋まるから良い学生  
を呼び込むことができ、大学力の向上につながる。

12